

# 会 議 録

会 議 名	平成28年度 第4回 丸亀市自治推進委員会
開催日時	平成28年11月22日(火) 午後6:30～午後7:20
開催場所	丸亀市役所 本館2階 第3会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p>麻谷 恵佑、天野 裕子、荒木 雅夫、石本 千紘、香川 脩、鹿子嶋 仁、 久保田 英俊、佐藤 隆繁、西谷 清美、山下 功太郎</p> <p>(欠席委員)</p> <p>高木 明美、土山 博剛、長尾 隼人、山内 一輝</p> <p style="text-align: right;">(敬称略・五十音順)</p> <p>(事務局)</p> <p>市長公室長 山田 理恵子 (政策課) 課長 山地 幸夫、副課長 富士川 貴、担当長 志村 芳隆、 主任 宇野 大志郎</p>
議 題	<p>(1) 自治基本条例検討結果報告書(案)について</p> <p>(2) その他</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地課長	<p>ただいまより、自治推進委員会を開催いたします。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>ここからの議事進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定により、鹿子嶋会長にお願いします。</p>
鹿子嶋会長	<p>議事に入ります前に、本日は14名の委員中10名の出席でありますので、丸亀市附属機関設置条例別表の規定により、会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>本日の議事は、(1)「自治基本条例検討結果報告書(案)について」、(2)「その他」でございます。</p> <p>(1)自治基本条例検討結果報告書(案)については、これまで「逐条による検証」と「市民アンケート結果による検証」を実施しまして、また前回の会議で、検討結果報告書の構成内容案をご確認いただきましたが、その後に提出いただいた委員の皆さんのご意見も踏まえまして、今回報告書(案)として、事務局とも確認しながらまとめたものとなっております。</p> <p>こちらの内容について、事務局より要点などの説明をお願いします。</p>
志村	(資料「自治基本条例検討結果報告書(案)」の説明)
鹿子嶋会長	報告書(案)については、これまでの協議のポイントを整理していただいた内容とな

	<p>っていますが、本日は、こちらの内容について皆様から、ご意見をいただき、修正や変更を加えたいと思いますので、ご意見等ありましたらお願いします。</p>
久保田委員	<p>文章の語尾に関して、3ページ5行目では「必要があると考える」とか、6ページの検証部分の最後で「していただきたい」という表現になっていますが、提言であるので「すべきである」という強めの結びにしたほうが良いと思いますが、何か使い分けをしていますか。</p>
鹿子嶋会長	<p>そこまでの使い分けをしているわけではないと思います。これは提言ですので、「すべきである」とか「必要である」という断定型の表現に直したほうが良いです。</p>
佐藤委員	<p>1ページの下から5行目部分で、「市では～進めているところであり」という表現がありますが、当委員会の意見として書くのであれば「市では～進めているところであるが」と直すべきかと思います。</p> <p>それから、2ページの7行目で「基本条例の発展と円滑な推進に向け」とありますが、条例の発展という表現は少し変に感じます。</p>
鹿子嶋会長	<p>1ページ目の部分は、確かに言われる通りです。</p> <p>2ページ目は条例の発展という表現もおかしいので、「基本条例の円滑な推進」とするか、「基本条例に基づく住民自治の発展」にしたほうが良いです。</p>
佐藤委員	<p>続いて、6ページの提言部分で「職員研修等人材育成の具体的な内容や状況を公表する」としていますが、その公表が市民にとって、どれほど必要となるものか疑問に感じます。</p>
鹿子嶋会長	<p>確かに会議の中でも公表することについてのご意見がありましたが、事務局では、これを公表することによる効果をどのように考えていますか。</p>
山地課長	<p>職員研修の内容の公表につきまして、市民の皆様にとって直接必要となる情報とは言えませんが、知りたい市民の方もいらっしゃると思いますので、市としても公開して透明性を図るべきかと思います。</p>
天野委員	<p>情報の透明性という部分でも必要です。一般企業からみましても、市ではどのような研修があるのか見比べて参考にもできるので公表すべきであると思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>企業としても参考になりますし、できるだけ市の情報を透明化していくという方向の中では公表も必要かと思います。ただ、この表現として、職員研修の内容を例として、市の透明化を図ることが必要ですので、「職員研修等の内容や状況を公表するなど、市の透明化を図るべき」と修正したほうがよいと思います。</p>

佐藤委員	<p>9 ページで、子どもに関する章立ても必要としていますが、高齢化についても加えてはどうかと思います。</p>
鹿子嶋会長	<p>子どもについてはもちろんですが、高齢化社会に向けた自治の対応も必要になってきますので、子どもへの対応と高齢化社会に向けた対応ということも膨らませていければと思います。</p> <p>また、子どもに関してはどこまで含まれるかという問題もあります。会議の中では若い人の力も借りたまちづくりについての意見もありましたし、この委員会には学生の方にも参加していただいていますので、子どもだけでなく若者も加えていただけたらありがたいです。</p>
鹿子嶋会長	<p>他にご意見はありませんか。</p> <p>今後、本日いただいた意見の修正をしまして報告書を完成させますが、11 月末までには市長に提出したいという事務局の考えもありますので、本日の修正部分を副会長とともに確認しまして、できるだけ早いうちに報告書を市長に提出します。</p> <p>なお、最終の報告書については、前後いたしますが事務局から委員の皆様にもお送りいただくことにします。</p>
山地課長	<p>今後、会長、副会長さんから市長に報告書を提出いただくこととなりますが、内容につきましては庁内にも報告するとともに、提言について全庁的に取り組みを依頼し、また政策課が進行管理を行いながらできる限り取り組んでまいりたいと考えています。</p>
山田市長公室長	<p>本日で自治基本条例に関する検証については一区切りとなります。今年1月から6回の委員会を開催し、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。今回の市民目線での率直な提言については、真摯に受け止めて対応してまいります。今後とも自治の推進に向けて皆様のお力が必要となりますので、引き続きよろしくお願ひします。まずは、今回の報告書ができましたことに関しましてお礼を申し上げます。大変ありがとうございました。</p>
鹿子嶋会長	<p>以上をもちまして本日の審議会を終了します。お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>